

令和7年9月 北九州市議会定例会
決算特別委員会 資料

危機管理室

令和7年9月市議会 危機管理室議案等について

1 令和6年度北九州市一般会計決算のうち所管分

(1) 危機管理室決算額

【歳入】

(単位 円)

款項目	節	予算現額			調定額	収入済額	収入未済額
		当初予算額	補正予算額	計			
18款 国庫支出金 2項11目	1 消防費補助金	2,343,000	4,500,000	6,843,000	1,549,625	1,549,625	0
19款 県支出金 2項9目	1 消防費補助金	770,000	0	770,000	770,000	770,000	0
20 款 財産収入 1項3目	1 基金運用収入	64,000	0	64,000	797,597	797,597	0
24 款 諸収入 6項4目	3 総務管理費雑入	32,000,000	0	32,000,000	62,635,909	62,635,909	0
	30 消防費雑入	7,901,000	0	7,901,000	10,939,022	10,939,022	0
合 計		43,078,000	4,500,000	47,578,000	76,692,153	76,692,153	0

【歳出】

(単位 円)

款項目	予算現額				支出済額(B)	翌年度 繰越額(C)	不用額 (A-B-C)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出 及び 流用増減	計(A)			
3款 保健福祉費 7項1目 災害救助費	25,166,000	0	734,000	25,900,000	25,899,597	0	403
12款 消防費 1項5目 危機管理費	145,623,000	9,000,000	300,000	154,923,000	122,080,939	9,000,000	23,842,061
合 計	170,789,000	9,000,000	1,034,000	180,823,000	147,980,536	9,000,000	23,842,464

(2) 主要施策と主な事業

① 防災対策強化経費 60,926千円

○ みんな de Bousai まちづくり推進事業【4,103千円】

災害から命を守りぬくために、自ら命を守る「自助」意識の醸成や、地域で助け合う「共助」の風土づくりなどによる地域防災力の向上を目指し、地区防災計画策定支援による地域の防災活動の活性化を図るとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組んだ。

○ 大規模災害に備えた備蓄整備事業【29,851千円】

大規模災害に備えた非常用の食料及び飲料水などの備蓄物資を整備した。備蓄物資の配送や棚卸、その他管理全般について専門業者に委託し、大規模災害時における物資提供体制の強化を図った。

○ 個別避難計画作成促進事業【4,227千円】

災害時における避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るため、避難行動要支援者の状況等を把握している福祉専門職と連携し、避難支援等を実施するための個別避難計画の作成を促進する事業を実施した。

○ 地域と連携した避難所開設・運営事業【5,789千円】

大雨や台風などによって災害が発生する恐れが高まり、予定避難所を開設する際に、避難所の開設と運営を地域と連携して行う事業を実施した。

② 防災訓練経費 7,512千円

○ 防災訓練(市総合防災訓練、区防災訓練)【7,512千円】

市総合防災訓練は、大規模地震災害発生時における市職員の災害対応力向上のため、災害対策本部及び災害対策センターの運営訓練を実施した。

区防災訓練では、区の地域特性に応じた防災訓練、防災講話等を実施し、地域住民の防災意識の醸成と区における防災体制の充実を図った。

③ 防災通信体制経費 20,111千円

○ 防災行政無線【8,723千円】

沿岸部の住民等に対して、津波などの災害や緊急事態発生時に、迅速かつ効果的に情報を伝達する手段である防災スピーカーの適正な維持管理を行った。

○ 北九州市総合防災情報システム運用及び保守【4,261 千円】

災害対策（警戒）本部において、迅速で的確な意思決定や応急対策を行うため、気象情報や被災状況を効果的に収集・共有し、正確な情報発信を可能とするシステムの運用を行った。

④ 被災地復興支援経費 25,690千円

○ 被災地復興支援事業【25,690千円】

令和2年7月豪雨、令和5年梅雨前線豪雨、令和6年能登半島地震の被災地への中長期職員派遣、また令和6年能登半島地震、令和6年奥能登豪雨の被災地への短期職員派遣など、被災地のニーズに即した支援活動を実施した。